

松本礼子

あなたはいまでも

あなたはいまでも

わたしの部屋にいる

あなたが立っていた敷居のそこに

光があつまり

思い出そうとしなくとも

あなたの記憶は内から灯る

手を翳すと

ほのかに伝わる温感

かじかんだ指先で

あなたの輪郭をなぞる

時とはこのようにして

留まるものなのか